



あすなろ薬局だより

2015.12

インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザは、インフルエンザウイルスをのどや鼻から吸い込むことによって、気道にインフルエンザウイルスが感染して、高熱や全身の倦怠感、のどの痛みなどの症状を起こします。感染の原因となる、インフルエンザウイルスは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫に含まれています。

インフルエンザが流行したら・・・

- ・人ごみや繁華街への外出は控えましょう
- ・外出時にはマスクの着用を
- ・室内は適度な湿度（50～60％）に保ちましょう（加湿器などを使用して）
- ・十分な休養、バランスの良い食事で、体力や抵抗力を高めておきましょう
- ・帰宅時のうがい、手洗いを必ずしましょう

インフルエンザと肺炎

インフルエンザウイルスは、それ自身が肺炎を引き起こすことはあまり多くありませんが、インフルエンザに引き続いて、細菌による肺炎（二次感染による肺炎）を起こすことがあります。二次感染による肺炎は重症化しやすく、インフルエンザによる死亡例のほとんどが、二次感染による肺炎が原因であるといわれています。

これは、インフルエンザウイルスによってのどや気道に炎症が起これると、気道の表面の細胞が壊れて、感染に対する防御機能が弱まり、細菌が感染しやすくなるためです。

二次感染による肺炎を予防するために・・・

インフルエンザにかかった時は十分に休養を取り、また処方された薬は指示通りに飲み、インフルエンザを早く直すことが最も重要です。

インフルエンザの症状が出てから5～7日たっても熱が下がらなかつたり、咳などが悪くなってきた場合は、肺炎を合併した可能性もありますので、早めに治療を受けましょう。

インフルエンザにかかった時に服用する抗インフルエンザ薬には、飲み薬、吸入剤、点滴注射薬があります。年齢や体重、インフルエンザにかかって何日目か、合併症があるかなど様々な条件によって、お薬を決定します。抗インフルエンザ薬については、病院・診療所の医師と相談してその指示に従ってください。

参考文献：アステラス HP



お近くのあすなろ薬局にご相談ください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。（お薬によっては時間がかかることがあります）
薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

（甲府）055-228-4024 （巨摩）055-283-3050 （石和）055-263-1568 （武川）0551-26-3800 （大月）0554-20-1301

